



平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 リアルコム株式会社

コード番号 3856 URL <http://www.realcom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 龍 潤生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 佐々木 司

TEL 03-6864-4001

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	726	15.4	19	△64.8	△10	—	△10	—
26年6月期第1四半期	629	6.1	56	51.6	34	20.5	29	21.4

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 △10百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 29百万円 (21.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年6月期第1四半期	△2.04	—
26年6月期第1四半期	8.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
27年6月期第1四半期	2,065	854	41.3	169.35
26年6月期	2,072	866	41.7	171.40

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 853百万円 26年6月期 863百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

○平成27年6月期の第2四半期末(中間)および期末の剰余金の配当金につきましては、現在はまだ未定です。

○現在、当社は平成27年6月期上期(平成26年7月1日～平成26年12月31日)において獲得した利益を分配可能額に算入し、平成26年12月31日を決算日とする臨時計算書類の作成を行い、平成27年2月中旬に開催予定の取締役会において、当該計算書類及び平成26年12月31日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)の決議を行いたいと考えております。当該剰余金の配当(中間配当)ならびに期末配当を決定した際には、別途リリースを行う予定ですが、現在はまだ未定です。

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	2,179	42.2	227	48.8	208	56.5	191	71.5	37.99
通期	5,156	54.1	689	161.6	650	170.2	583	145.3	115.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	5,040,911 株	26年6月期	5,040,911 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	681 株	26年6月期	581 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	5,040,307 株	26年6月期1Q	3,514,200 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。また、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.2「1. 当四半期決算に関する定性情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税の影響による回復の遅れや海外景気の下振れなど景気を下押しするリスクとともに、急速な円安の影響も重なり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界においても、引き続き再生可能エネルギーへの高い需要が続く一方、平成26年9月に九州電力など数社が送電設備への接続申込みについて、一時的に回答を保留することを表明したことにより、先行きは慎重な姿勢がみられるようになりました。

こうした状況下、当社グループは、引き続きIT事業、建機販売事業を基盤に、太陽光発電（ソーラー）事業に注力して、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。その太陽光発電（ソーラー）事業につきましては、足元の受注状況が好調であり、今後も受注の増加が見込まれることから、当第1四半期連結累計期間において、先行投資として優秀な人員の拡充、組織体制の整備等の体制強化を行いました。これは当初計画に沿った先行投資であり、下期における計画達成に貢献するものと期待しており、引き続き、太陽光発電（ソーラー）事業において、受注から建設工事の施工、その後の保守メンテナンス、IT技術を活かした遠隔監視など当社グループの強みである独自のワンストップサービスを実現し、市場競争力を高めてまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は726,376千円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益は19,893千円（前年同四半期比64.8%減）、経常損失は10,898千円（前年同四半期は経常利益34,114千円）、四半期純損失は10,287千円（前年同四半期は四半期純利益29,877千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. IT事業

当社主力製品「Knowledge Market」、MS事業におけるライセンス販売、SI、運用保守等により、売上高53,974千円（前年同四半期比17.3%減）、セグメント利益957千円（前年同四半期比92.6%減）となりました。

2. 建機販売事業

WWBにおいて、建設機械を国内及び海外に販売した結果、売上高182,313千円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント損失6,422千円（前年同四半期は営業利益23,327千円）となりました。

3. 太陽光発電（ソーラー）事業

WWBにおいて、ソーラーパネル及び関連製品を販売し、また人員および社内体制の拡充等の先行投資を行った結果、売上高490,088千円（前年同四半期比27.6%増）、セグメント利益29,699千円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,639,759千円となり、前連結会計年度末に比べ75,577千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が57,460千円増加した一方、現金及び預金が283,244千円減少したこと等によるものであります。固定資産は426,039千円となり、前連結会計年度末に比べ68,527千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が61,452千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,065,799千円となり、前連結会計年度末に比べ7,050千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は796,833千円となり、前連結会計年度末に比べ24,326千円減少いたしました。これは主に買掛金が223,295千円減少した一方、前受金が169,506千円増加したこと等によるものであります。固定負債総額では414,005千円となり、前連結会計年度末に比べ28,399千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、1,210,838千円となり、前連結会計年度末に比べ4,073千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は854,960千円となり、前連結会計年度末に比べ11,123千円減少いたしました。これは四半期純損失10,287千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は41.3%（前連結会計年度末41.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月14日の「平成26年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	494,357	211,113
受取手形及び売掛金	408,376	465,836
商品	613,209	644,308
貯蔵品	49	70
その他	209,899	328,935
貸倒引当金	△10,555	△10,505
流動資産合計	1,715,336	1,639,759
固定資産		
有形固定資産	161,150	222,602
無形固定資産		
ソフトウェア	537	483
のれん	69,447	65,106
その他	11,213	11,213
無形固定資産合計	81,197	76,803
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	290,050	313,200
関係会社長期未収入金	32,400	34,986
その他	115,165	126,633
貸倒引当金	△322,450	△348,186
投資その他の資産合計	115,165	126,633
固定資産合計	357,512	426,039
資産合計	2,072,849	2,065,799
負債の部		
流動負債		
買掛金	513,934	290,639
短期借入金	37,500	25,000
1年内返済予定の長期借入金	96,892	111,796
未払金	9,368	20,434
未払法人税等	25,628	1,639
前受金	90,038	259,544
その他	47,796	87,779
流動負債合計	821,159	796,833
固定負債		
長期借入金	297,385	337,436
その他	88,221	76,569
固定負債合計	385,606	414,005
負債合計	1,206,765	1,210,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,069,289	1,069,289
資本剰余金	302,139	302,139
利益剰余金	△507,308	△517,595
自己株式	△215	△268
株主資本合計	863,904	853,565
新株予約権	2,178	1,395
純資産合計	866,083	854,960
負債純資産合計	2,072,849	2,065,799

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	629,305	726,376
売上原価	458,845	559,211
売上総利益	170,459	167,164
販売費及び一般管理費		
役員報酬	12,240	14,899
給料	33,701	45,578
支払手数料	14,462	22,345
減価償却費	1,715	1,183
のれん償却額	4,340	4,340
その他	47,541	58,922
販売費及び一般管理費合計	114,002	147,270
営業利益	56,457	19,893
営業外収益		
受取利息	68	169
その他	7	174
営業外収益合計	75	344
営業外費用		
支払利息	4,089	3,199
為替差損	17,205	27,607
貸倒引当金繰入額	250	—
持分法による投資損失	782	239
その他	90	90
営業外費用合計	22,418	31,136
経常利益又は経常損失(△)	34,114	△10,898
特別利益		
有形固定資産売却益	—	4,800
新株予約権戻入益	—	783
特別利益合計	—	5,583
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	34,114	△5,314
法人税、住民税及び事業税	5,016	2,084
法人税等調整額	△779	2,888
法人税等合計	4,236	4,972
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	29,877	△10,287
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,877	△10,287

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	29,877	△10,287
四半期包括利益	29,877	△10,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,877	△10,287
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	65,265	179,845	384,193	629,305	—	629,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	65,265	179,845	384,193	629,305	—	629,305
セグメント利益	12,904	23,327	24,566	60,798	△4,340	56,457

(注) 1. セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	53,974	182,313	490,088	726,376	—	726,376
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	53,974	182,313	490,088	726,376	—	726,376
セグメント利益又は損失 (△)	957	△6,422	29,699	24,234	△4,340	19,893

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、のれん償却額であります。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。